

晩年

D・A・N 通信

No.12

2025.02.21 (77歳9ヶ月) ~ 2025.05.20 (78歳)

団 士郎

誕生日に新刊が出た。「家族理解の教科書 graphics」ホンブロック刊2300円(税別)である。完成するのに結構時間がかかった。2022年には出版のアウトラインは固めていたから、足かけ4年かかっている。

2006年1月に『家族の練習問題～木陰の物語～』第一巻を発行した。続けて出せる確信はなかった。売れなければどうしようもない。それがいわゆるロングテール商品(細く長く売れる)になって、現在第9巻。そっちの10巻目も準備したい中での新刊である。

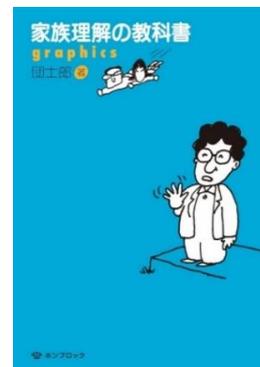
この類の本の第一弾は「対人援助職者のための家族理解入門～家族の構造理論を活かす～」中央法出版 2013年刊(現在七刷)だった。だが第二弾を出す段取りがなかなか整わず、干支一回り経って、ホンブロックから刊行することになった。

本の出版は公務員在職中にも、心理職仲間と共著でいくつか出していたが、五十歳で退職してから出版の勢いがついて、マンガ&家族心

理臨床、両方で形になっていった。

マンガの自著(「家族の練習問題」)が出た2006年より以前、ヒトコママンガの本など、高額な自費出版が当然で、制作しても買って貰える環境はなかった。そんな状況もここ十年程で飛躍的に変わってきている。今のネット環境下では、様々な形で出版が安価で可能になった。

社会インフラの進化は出版界の常識もドンドン塗り替えていて、その結果、街の書店は減るばかりだ。このマガジンだって250頁超えの季刊雑誌が無料で十五年、61号目だもの。

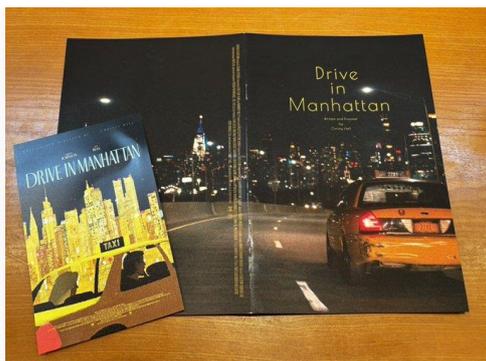


2/21

邦画と洋画の観客動員数が4対1になっているなんて聞かされ、シネコンの上映ラインナップを見ていると、よくわからない危機感を感じる。

(ところがこの危機感、どうやら特定の世代だけのものらしい。そもそも日本の映画界は、圧倒的に邦画に勢いのあった時代があり、団塊世代の思春期辺りで、邦画はTVに取って代われ、ロードショーの時代になっただけ。そして今、また邦画が…ということのようだ。)

そんなわけで映画館に行かなくちゃとこれに目を付けて出かけた。出演者二人、ほぼタクシー車中の会話だけ。なのに魅力的であつという間の100分。面白かった。



2/24

数日間、のんびりゆっくりしていたら、頭のエンジンがかかり難くなってる気がしてきた。仕事場にでも行くかと思って窓外を見たら雪。寒いと思った。今日は祝日らしいが何の？と手帳を見ると振替休日とある。それで前のページを見たら天皇誕生日だって。それは4月29日でしょう？が抜けない。

2/25

3月18日から23日まで、京都のギャラリー余花庵で毎年恒例のぼむマンガ展を開く。その漫画掛軸の制作依頼データ5作品分を業者に送信した。今からタリーズに出かけて

「木陰の物語」新作第301話の下書き。夕刻戻ると今日締め切りの対人援助学マガジン60号の原稿整理。どれも着々と捗る。

*

時々思うことだが、大きな悪事には声をあげられず、小さなそれには手厳しい目を向ける世論がある。無論、大小関わりなく不正は不正だが、その結果、小さなものは潰されて、巨悪は放任されるのってなんだかなあ。現実世界を見ていたら無謬の存在など設定しかねるが。

2/25



「不毛地帯」山崎豊子著全五巻を聴き終えた。合計70時間ぐらいあった。シベリア抑留から始まり中東を舞台の商社の石油戦争、アメリカの自動車産業とのビジネス。まあ私は経験のない世界の昭和の大河ドラマ。登場するいろんな場所や出来事があの頃の記憶を呼び覚ましてくれる、我らの時代の物語だ。

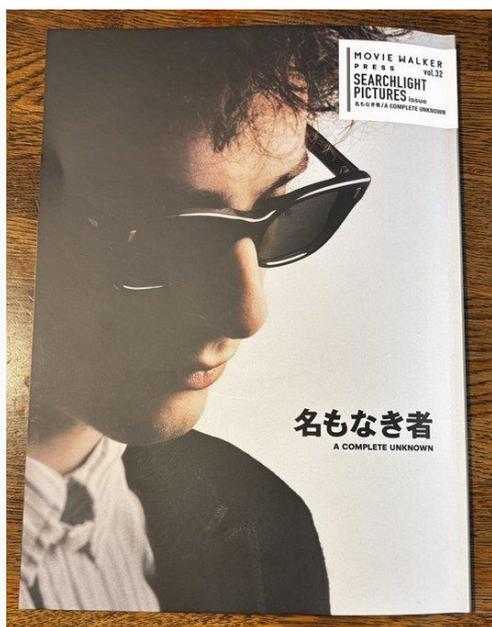
2/27



奈良県、広陵町図書館で3月2日から16日まで開催の家族漫画展。展示の掛軸とパネルを取りに世話人夫妻が天津に訪。回を重ねて手順も素早く、多量の作品の中からのピックアップもスムーズに終了。3月18日からは京都でぼむ漫画展だから、連続だな。

2/28

ボブ・ディランに関心が向いたことがなかった。だから封切日に見ることになったのは偶然の巡り合わせ。でも、映画はとても面白い音楽映画だった。登場する他のミュージシャンに馴染みの名前があった。1960年代からの米国音楽シーンに関心はあったから、消えた人々の方に目が向いていたのだろう。



3/1

湖西線敦賀乗り換えで金沢への道中。朝、濃霧で遅延が出ているJR京都線の情報に、大幅早めに家を出て京都駅に。サンダーバードは定刻に出たが、堅田駅付近で線路内立ち入り事故があり運転見合わせ。動き始めたが敦賀乗り継ぎの北陸新幹線は調整中の案内。大嫌いな乗り継ぎの面倒ごと発生。

驚きの車内放送。30分近く遅れたサンダーバード。敦賀駅からの乗り継ぎ北陸新幹線つるぎ14号は待っているそう。ふーん。

3/1

前は金沢市で漫画展とワークショップをやった石川県。今回は輪島まで足を伸ばして、明日、地元で奮闘している皆さんと四時間のWSを実施する。今日はあちこちまだまだ爪痕そのままの地域を訪れた。凄いな、隆起した海岸。壊れた家屋がまだそのまま。もう一年以上になる。食事会では渦中の女性たちの声を沢山聞く



3/2

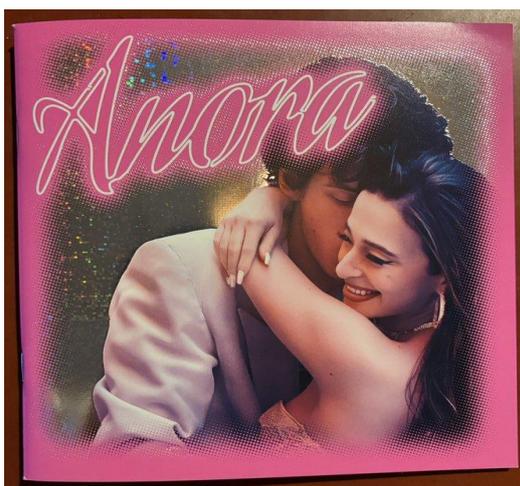
輪島市周辺で働く援助職者が集まって、家族の勉強会。初めての方が大半。嬉しいことだ。この地域のこれらに向けて、私のできる事をできる間、してゆこうと思う。参加者が元気、活発なのが何より。

3/4

昨日から対人援助学マガジン60号の編集作業のピッチを上げている。現在51人の連載者からの原稿と短信を整理中。その合間に月刊連載マンガの原稿を送信したり、間もなく開催のぼむ漫画展用掛軸のデータ校正。

3/4

ふうん、これが今年のアカデミー賞作品なのか。頑張って観に来たのだからなあ。歳をとったせいで映画を観る力が鈍っているのか、ここ数年のアカデミー賞作品に心酔できない。仕方がないかと思いつつも、いい洋画を見たくて、時間見つけて映画館に。一覧すると全部見てるんだけど。



3/6

TV をつけるとトランプ大統領の大声に会場が揺れ、半分はシーンとしたスポーツ観戦のような景色が目に入る。そういう時代になってきたのだと思う。白か黒か、正か邪か、勝ちか負けかと何かにつけクリアすぎる。皆、意見は違うのだから、声を揃えたりしないでいい。大声の輩はやがて消えゆく。



3/8

対人援助学マガジン 60 号の編集作業をしながら、50 人余の連載原稿のマネージメントは本当はそう簡単ではない。先ほど O 君から完成目次が送られてきて、久々の 300 頁越

えである事を知る。誰も全部なんて読めないけど、創刊号からバックナンバーが常備の資料館のようなHPです。ご覧ください。

3/9

週末は奈良・広陵町に。土曜の WS 後、泊まったホテルの朝ごはんがちょっと違って美味しかった。図書館での第九回目になるマンガ展と講演会。無事終えたが、来年で 10 年になる。なんでも続けていれば歴史になるなんて思った。それほどに朝令暮改が今の世界だからなあ。



3/10-11

立命館茨木キャンパスで二日間、6 コマの集中講座。休暇中の大学で、こんな時期にと心配したが、少人数だが熱心に受講してくれた。終了後、仕事場に戻る道中でこれを食べ。他で同じものを食べて気に入ったので入ってみた。マガジン発行の最後の詰めにはバタバタ。



3/14

明日の講演会のため新水俣駅に。水俣市に降り立つのは初めて。地名を耳にすることは数多くあったが訪れる機会はなかった。駅前からタクシーで山間の古い温泉に。自分じゃ来なさそうなところ。



3/16

2泊3日の水俣はなかなか盛り沢山な見聞。昨夕、水俣病の患者支援運動でここに来て、住み着いて何十年という女性の話を聞いた。移動して海辺の湯の児温泉泊。今日は山上の「天の紅茶」生産者を訪問。美味しい貝汁ランチの後、水俣病関連の施設や展示物を地元のMさんの案内で見て回る。興味深い。



3/18

ぼむ漫画展スタート。1番に来てくれた十代からの友人二人とランチしてお茶。

(高校の同級生だが、昔は6人で会食をしていた。それが二人亡くなり、一人は10年近くも闘病中。こんな変化が日々重なっていく)

午後からも久々の人や、いつもの人たちが次々と。初めて「木陰の物語」を見てくれた人が、大感激して話しかけてくれた。まだまだ新たな出会いも待っているのだろう。嬉しいことだ。



3/19

朝起きたらえらい雪降りだった。着払いの宅配便を待って、昼前に自宅を出た。

今日は来廊の約束をしている人が五人あって、入れ替わり立ち替わりの多忙さ。教え子のTは三人の子の母になったそうだ。

3/20

50年以上前、産経新聞のヤング面で原稿料をもらって漫画家をスタートした。その時の担当編集者ご夫妻がぼむ展にみえた。今は東大阪の司馬遼太郎記念館、館長夫妻なのだが。懐かしい若かりし頃のぼむ仲間とのあれこれが話題に。

今 audible で聴いている椎名誠の青春と重なった。皆、歳をとった。



3/21

今日も約束していた人、突然の人も含めて五月雨式に来訪者あり。長年の漫画家仲間から、「団さんの漫画は天然なのだ」と言われた。その言わんとしてくれたことがとても心に響く。自分がなぜこんなに長く描き続け

てこられたのか、飽きることがないのかが腑に落ちる。自然、天然らしいのだ。

3/22

土曜日。やはり訪れる人の数は多く、たまに会場が立て込んでいる気もしたり。約束の時間に来てくれる人、たまたまお目にかかることになった人。以前お目にかかっていた方など、まあご縁ですなあ。長いお付き合いの人が多い。



3/23

最終日、日曜の来客はやや少なめ。今回は直接存じ上げない方からの声を耳にすることが多かった。そんな風に作品は読者のものになっていけば良いのだと思う。解釈も意味付けも読んだ人、それぞれの中にあるものとリンクしているのだろう。



3/24

今日からしばらくは、おじいさん、おばあさん二役の日々。娘と孫がゆっくり目の里帰り。私も昨日までの漫画家とは大きくギアチェンジ。乳児だった子があつという間に幼児になっている。娘が実家のあれこれを片付けて、更新してゆくのをしているだけだ。



3/25

お正月以来という、そう久々でもないサイクルで孫を見ていると、大きさ、形より、質、中身の変化に驚く。赤ちゃんでなくなり、幼児でなくなり、子どもになってきている。だから個体的特徴にも気付かされ、対応にも個別性が要るなあと思わされる。もう、子守の対象ではなくなったのだな。

3/27

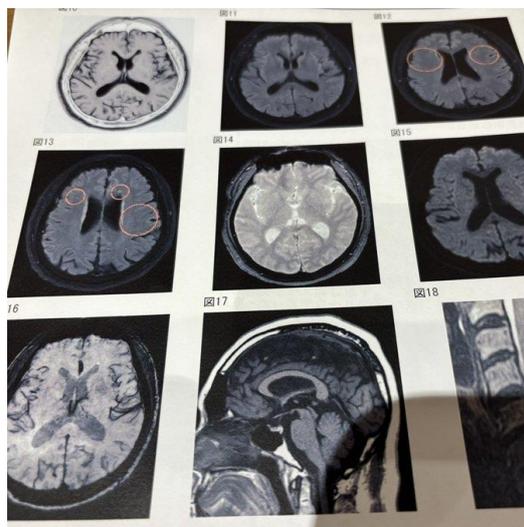
zoom 講座二回目のため、昨晚遅くに仕事場へ移動。今朝、少し接続のトラブルありながらも無事済ませて、京都市役所前の満開の桜を横目に、いつもの八百屋惣菜店で筍ご飯、芥子和えなど買って自宅に戻る。

午後、娘が段取りした大型ゴミの収集にトラックがやって来て、あれこれ持ってってくれた。



3/28

実は MRI をやってきた。出張中に風呂場で転倒して、頭頂部を激しく浴槽にぶつけた。少しコブは出来たが治っていた。その話を何人かにしたら皆、検査しておけ、後から出るかもと脅かす。そこで脳神経外科クリニックに。結果、何もなかったことが判明。まあ、良かった。年相応の萎縮と言われたりはしたが。



3/29

花が咲いてだいぶ経ってからふとした拍子に気がつく。次はもう散ってしまって、地面の汚れた花びらを掃除しなくちゃと思って放っておくときだろう。気がないというのはこういう事だ。毎年そう思うのに花は身につかない。まあ、何にでも興味を持ったりしなくてもいいか。



3/30

娘孫滞在の最終日。舞鶴に出張仕事で来ていた長男が、ランチタイムに立ち寄りという。四人でいつもの中華を食べ、お茶もして3時頃、鎌倉に帰った。

夜、20時過ぎに次男が富山のスキー場からの帰路だと、二人を迎えに。21時、三人で芦屋に出発。一週間ぶりに一人になった。

3/30



録画してあった浦沢直樹の漫勉 neo を夜中に見た。大友克洋の「童夢」の生原稿を並べて二人が話しているのにワクワクする。あの本は出た時に買って読んだ。とても描けるものではないので感心しただけだった。今、見ながら自分も漫画家の一員であることが嬉しい。もっと描こうと思わせてくれた。

3/31

毎年のことながら御幸町教会の桜。春にサクラが咲くのは良いなあ。



4/1

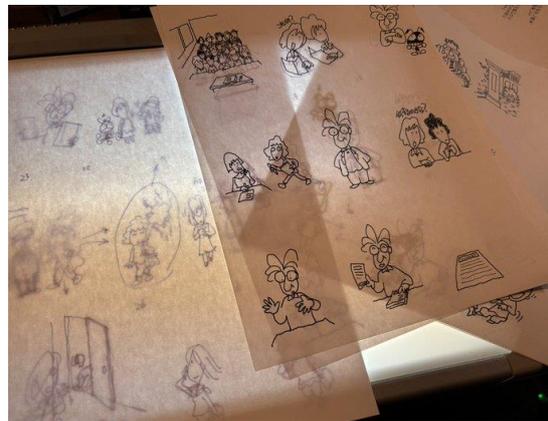
昔の卒院生が近況報告に来た。司法関連の現場で働いている人だ。手土産にくれたエコバッグがこれ。「獄」HAKODATE PRISONってなかなか書かないだろう。刑務所内の作業で作っているものだそうで、果敢だなあと思う。ユーモアとかセンスで通り始めているのかな。いい。



4/2

毎月一話、25年もよく続くものだなあと自分に感心してから、302話に取り掛かった。今回は最初に描こうと思っていたものではなく、以前思いついただけで途中で止まっていたものを夜中に描いている。

ユーモア特論、昔、三年間だけ女子大でやっていた授業の話。画期的なテーマだったんだけどな。



4/4~5

仕事場で zoom 講座の下準備。まだ時間はあるので幅広く昔の資料などもあたってみる。隙間には映画。wowow 放映で出くわした「ハロルド・フライ」がとても良い。小ネタにくすぐられる。昔見た「パルプ フィクション」の再見は詰まらなかった。「侍タイムスリッパ」は映画館の時よりは面白かった。



4/6

好天の日曜。大津の桜を眺めに、懐かしいところを散歩。六十年以上ぶりの山道を辿ると三橋節子美術館の裏手に出た。初めて入場。絵葉書セット購入。桜満開の長等公園を巡って、小学生時代を過ごした地域をブラブラ。商店街の野洲のおっさんのおにぎり屋、超美味。疏水の桜には大勢の人出が。



4/7

月末あたりには出る新刊のカバーはこんな風になる。中身の三分の二はマンガ。教科書と銘打っているから、6月下旬から zoom で授業も継続実施の予定だ。大人になった生徒さんに、大昔のラジオ講座みたいに、教科書片手に聞いて貰えると嬉しい。只今その準備にいろいろ仕込んでいるところ。



4/8

仕事場近くのおばんざい中心のご飯屋さんが店を閉めて久しい。気に入っていたのに…。近所には和食店が少ない。数日前、新店オープンチラシが入っていた。関東にもある店らしいが焼き魚や干物も出すとあるのでランチに出かけた。月曜の二時前なのに満席近かった。久々に秋刀魚を食べた。



4/10

チャットGPTをよくは分からぬまま、私も試してみる。比較的最近の写真からジブリ風に作らせてみた。そこそこ時間がかかるので、

ポラロイドみたいで楽しかったが、仕上がりは微妙だ。老人であるのは確かだが。



4/12

用心はしているが、いろいろ起きる。JR 膳所駅に行くと、事故で二時間近く遅れている。京都駅までは三駅ほどだから遅れていても来たのに乗ればいい。八条口の空港バス乗り場では、モタモタした客のため遅発になっていたの乗れた。空港では荷物を ANA 扱いの方に下ろされかけた。JAL は次だ。13.20 発だと思い込んでいたが 13.00 発だと搭乗口で気づく。綱渡りだ。

4/13

2015 から 10 年、コロナ禍で抜けたから七回目になる山形 WS。いつも通り快調に少人数ながら、各地に関心を持って継続的に学んでくれる人たちがいる。終了後。連泊なので夕飯はホテル近くの米沢牛の店で一人すき焼き。美味しい。



4/14

山形は今から満開時期を迎えそうで、今日は肌寒く小雨模様だった。そんな中、霞城公園の桜を眺めに行った。桜も綺麗だったが、再生館という山形市郷土館が興味深かった。明治時代に建てられた病院。1969 年にここに移築修復されたらしい。中の展示もとても面白い。



4/15

audible 三昧になって、選ぶ本の幅が広がった。その一方で、根をつめて読書すると目が疲れやすくなった。これは年齢。「二人の嘘」は知らない作家の聞いたこともない本。でも、よかった。「青い壺」は昔の本が SNS で最近

火がついて売れているのだとか。ちょっと昭和な小説らしい面白い連作。満足。



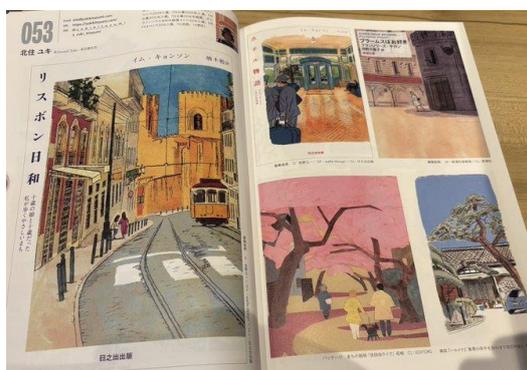
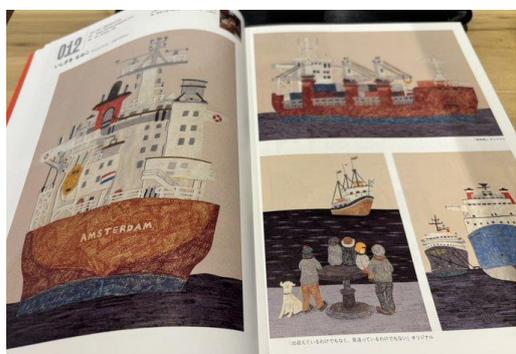
4/17

二十年以上も放ったらかしだった労金の口座を解約して「ゆうちょ銀行」にまとめたお金を振り込み。昨今の振り込め詐欺事件のせいでドキドキする。

印鑑もカードも不明で、煩雑な手続きは事前に電話で聞いていたので、必要そうなものをかき集めてきた。窓口で言われるように何枚も書類を書いて、待っていると無事終わらせてくれた。

最近、あちこちでイラストレーションをいいなあと思う。そこであまり手を出したことのないものを買ってみた。カフェでパラパラ眺めていると、自分でも描きたくなる。

実際は木陰の物語(掛軸版)の彩色の参考にすくらいだけど。登場する作者は圧倒的に女性が多い。イラストレーターってそうなるの？



4/21

週末は自宅で雑事を片付けながらのんびり YouTube など見ていた。まとめて楽しんだのはバカリズム脚本のドラマ「ブラッシュアップ ライフ」、全十回一気見なんて久々。雑談劇が上手い。安藤サクラ、夏帆、木南トリオが最高。

本屋大賞で話題の「カフェ」、オーディブルだから選べたのだろうが面白かった。





4/22

恒例のおやし遠足。今回は越前大仏に。昔日の賑わいはなく、廃墟に向かって爆進中などと YouTube の噂は知っていた。でも実際に見てみると、人の姿はまばらだが、寺や仏様のサイズはなかなかの威容で、凄いなあと考えた。昭和六十二年にタクシー会社のオーナーが建立したというのがお気に召さないのか？



4/23

毎年、春にはあさりうどんを食べる。ところが、以前も話題にしたが、提供している店舗が限られていて近くにない。昨日は満を辞してたどり着いたのに「昨日で終わりました」と言われた。

どうにもおさまらないので夜、近年行列でなかなか入れない天井屋に隙間を見つけて入店。アサリ汁とエビ天井、満足。





4/24

漫画同人ぼむの月例会。ちょっと早く着きすぎたので、大阪福島駅前のミスド。久々にポンドリング。12時集合、国府宅でぼむカレーを食しながらあつという間の五時間。六人で歓談していると話は尽きない。



4月24日、この日には染みがある。母の誕生日だ。大正11年生まれ、生きてたら103歳ということになる。

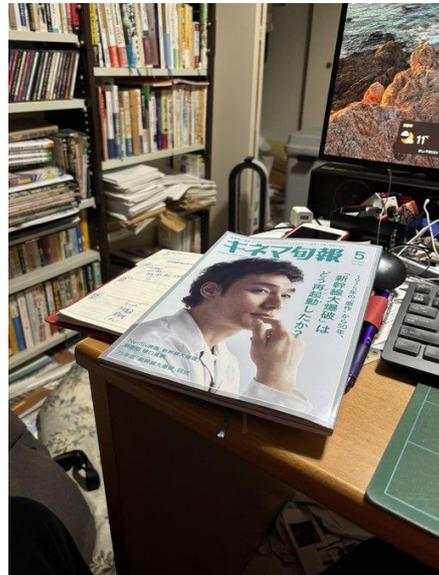
22歳くらいで嫁いですが夫が召集され、母になったのは昭和22年。戦地から夫が戻って、25歳で私を産んだ。つまり百年、戦争をしなかった日本の歴史はないのだ。今が嫌な時代になってなければいいが。



4/26

老人は早く目覚めて、その分早寝らしい。人並みに歳は食っているのだが、夜更かし好きが直らない。大したことしてないんだから、さっさと寝てしまえと自分でも思う。

でも未練があつてNetflixで「新幹線大爆破」をみた。なんだか途中で乗り切れなかったのでキネ旬の掲載号を買ってみる。



あらためて後半を見始めたらあつという間だった。面白かった。

4/28

順番で年に二度、ゴミ集積所の掃除当番が回ってくる。今年は今日から一週間、GW中である。混み合うところには出かけないし、約束もないので支障もない。頑丈な造りの場

所なので、カラス被害や散乱などは少ない。
早速見に行ってみたが今朝、燃えるゴミの収集日だったが綺麗なものだった。



4/29

連載マンガの新作に躓いている。弾みが足りないのだ。気分転換を模索していて Netflix「セーヌ川の水面の下に」を見つけた。観る前から分かっていそうなサメのパニック映画。ところがあれこれ取り入れた要素に2024年制作らしさを感じられて面白かった。ラストなんて無茶苦茶だ。



4/30 新刊が今朝届いた！いつもの「家族の練習問題」シリーズよりひとまわり大きい。少しズツシリ、タツプリ感。230 ページ、22 話あります。ぜひ手に取ってご覧ください。

shop.honblock.net



5/1

数日、新作づくりに難渋しているので、気分転換にドトールに来てみた。思いつかないのではなく、コレ！と踏み切れない話が三つも四つもあるのだ。こういう苦労ってたいい、まあまあの結果にたどり着くだけだから虚しい。後からもいいなあと思えるものって、スパッと決まる。徒労だなあ。



この後、上島珈琲店に移動して、エンジンがかかった。下書き中。



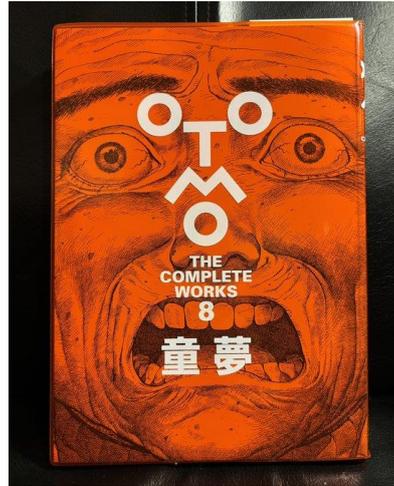
5/4

たまたま二人の人が話題にしているのが目についていたので、GW の楽しみに観た Netflix 「アドレセンス」、長回しの映像はいろいろ観てきたが、こんなに苦しくなったのは初めてだ。息継ぎができず、一息ついてくれ！と思ってしまった。シーンもずっと嫌な緊張の持続。やりきれなさにリアリティ。



5/6

かなり探したが見つからない。本棚があちこちにあり、重なった積読の奥に、何年も見たことのないゾーンもあったがそこにもない。仕方ない、どうしても読みたかったので新規購入。ひとまわり大きな版でコレ！TV「漫勉」での「童夢」原画を前にした大友克洋 vs 浦沢直樹対談の魅力に抗えなかった。



5/7

連休明け、髪を切った後、久々の bookoff に。書店とは全く違った棚構成だから、見逃していたものにもあう。これは 2000 年発行だから四半世紀も前の本。たまに街で眼にするトリックアートが面白い。あの頃、著者の福田繁雄さんから、広告漫画賞の広告主賞を授与されたことがあったのを思い出した。



5/10

連休もあけて、久々の新幹線。もう少ししたらばら寿司を食べようと思って Facebook 見てたら、こんな写真が。なに？と思った途端、吹いた！ラジオ安住紳一郎の日曜天国もだが、笑えるネタはたくさんあるなあ。



5/11

昨日、東京WSを済ませた日曜日。神保町のホテルで目覚める。半蔵門線で用賀の世田谷美術館へ。横尾忠則「連画の河」展覧会に。2024年に描いたばかりの作品が多数。好きなように楽しんで描いている感満載。混み合ってもおらず、ほどほど。砧公園エリアの緑と家族連れでの散策がオシャレで都会的。

5/12

昨日、神田の古書店でこれを 300 円で買った。前に読んだかなあ、持ってるかなあと思いながら帰路の新幹線で半分ほど。出版は知っていたけど、買わなかった 13 年前の本。「談志が死んだ」立川談四楼著を団士郎が読んでいるわけで...



5/13

20時からと遅めの開催の企画、無事？終了しました。終盤で私が zoom から落ちてしまって復帰したり、開始前の打ち合わせに遅れたり、まあ緊張感のないことでした。その分、リラックスして岡田さんとの、いつものような家族心理四方山嘯になりました。



5/14

滋賀県草津市で四半世紀も続いている月例の家族理解勉強会。本日の出席は15名。新刊も買ってもらった。前半、私が家族の構造をめぐる今日的課題の連想や考察を語る。後半は提供されるケース家族のことを、想像力を駆使して話し合ってもらう。

5/15

すすめられてこれをunextで観た。後味の悪い怖い映画だった。有料視聴だったが、ポイントがたくさんあって0円で観れたが、おいおい。ということは私は継続契約していたのか？確かめてみたら2022年からメンバー。知らなかった！みもしないで、気づかずに会費を払っていた。ガックリ。



5/19

散らかった自宅ダイニングテーブルのことはおいといて。

久しぶりに12年前に出したこの本を読んできた。今よりは若くて、意欲満々だったのだと思うが、1行1行にコンテンツがぎゅうぎゅうに詰まっている。そう感じるのは、新刊をゆったり目に仕上げたからだ。二冊読めば、家族の構造のことはわかる。